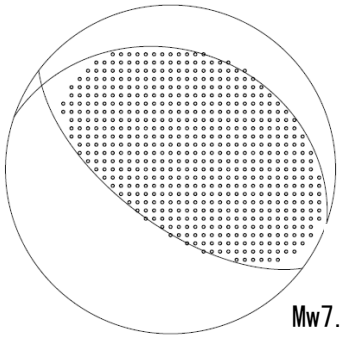
11 月８日　グアテマラの地震
（W-phase を用いたメカニズム解析）

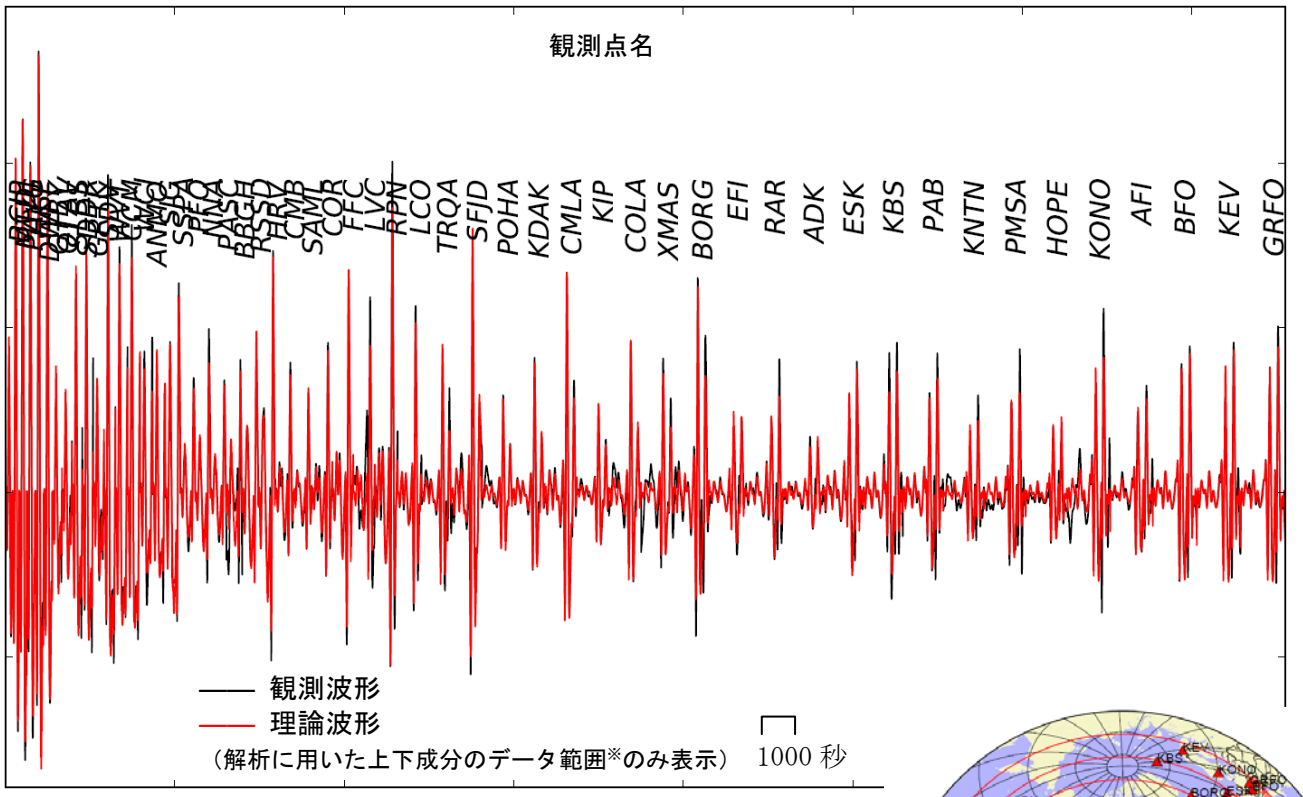
W-phase による解



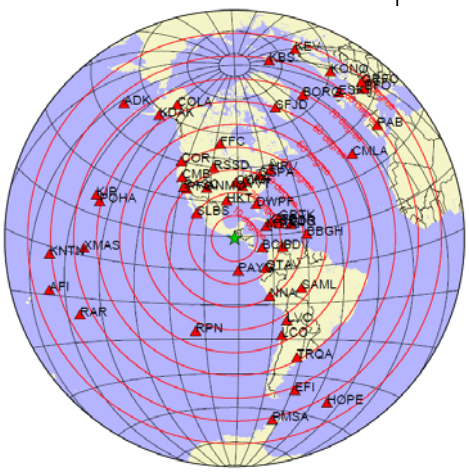
2012 年 11 月 8 日 01 時 35 分（日本時間）にグアテマラで発生した地震について W-phase を用いたメカニズム解析を行った。メカニズム、Mw とも、Global CMT などの他機関の解析結果とほぼ同様であり、Mw は 7.3 であった。なお、W-phase の解析で求めた震源は N14.1°，W92.0°，深さ 24km となった。

W-phase の解析では、震央距離 10°～90°までの 53 観測点の上下成分、3 観測点の東西成分、4 観測点の南北成分を用い、100～500 秒のフィルターを使用した。

注）W-phase とは P 波から S 波付近までの長周期の実体波を指す。



※解析に用いたデータの範囲は 15 秒×震央距離（度）としており、各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。



解析に使用した観測点配置

（W-phase に関する参考文献）
Kanamori, H and L. Rivera (2008): Geophys. J. Int., **175**, 222-238.

IRIS-DMC より取得した広帯域地震波形記録を使用した。また、解析に使用したプログラムは金森博士に頂いたものを使用した。記して感謝する。

気象庁作成